

『長期療養患者における 骨折リスクに関する研究』 お知らせ

1. 実施目的について

骨折は、転倒や転落による外傷により起こりますが、背景因子として骨密度の低下、関節可動域の制限、栄養状態の不良、薬剤作用なども影響します。特に長期臥床が続くと骨への荷重負荷が減少するなどにより、骨密度が低下し骨折を引き起こしやすくなります。

長期療養中の患者さんの中には、生活動作・介助動作の中で明らかな外傷がないにも関わらず、気付かないうちに骨折を起こす事があります。骨折が起こると、日常生活動作の制限を来し、生活の質を低下させます。

そのため、過去に当院入院中に骨折をされた患者さんの状態を調べることで、今後の対策をたてたいと考えています。

2. 実施内容について

方法は、2010年4月から2016年3月までに、当院に通院・入院された患者さんの中で骨折された方のカルテをしらべ、その方のもともとの病気(基礎疾患)、年齢、性別、骨折されたときの身体機能、栄養状態、服薬状況、画像所見、おこなった治療、その後の経過についてまとめ、その傾向を検討します。

カルテを実際に調べる作業を行う期間は、これより平成2017年3月末までです。

3. 研究代表者

廣田 智也(医王病院 リハビリテーション科 主任理学療法士)

4. 調査対象期間

2010年4月1日から2016年3月31日までを調査対象期間とします。

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上で、データファイルが作成、保存、分析されます。この研究により、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして、学術的な場でのみ公表します。

6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように、個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合、また、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

医王病院

リハビリテーション科 廣田智也

国立病院機構 医王病院病院長

駒井清暢